

安全データシート

作成日: 2015/03/01

改訂日: 2024/03/01

1. 製品及び会社情報

製品名:	試薬特級炭酸アンモニウム 高杉一級炭酸アンモニウム 食品添加物炭酸アンモニウム
会社名:	高杉製薬株式会社
住所:	福岡県糟屋郡粕屋町仲原2617
電話番号:	092-621-1231
FAX番号:	092-621-6269
推奨用途:	一般工業用途、食品製造用途
使用上の制限:	推奨用途以外の用途へ使用する場合は化学物質専門家等の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

GHS分類:	皮膚腐食性/刺激性: 区分2 <H315> 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分2A <H319> 特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分3 <H335>
--------	---

GHSラベル要素
絵表示又はシンボル:

注意喚起語:	警告
危険有害性情報:	H315 皮膚刺激 H319 強い眼刺激 H335 呼吸器への刺激のおそれ

注意書き:

[安全対策]	P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。<H335> P264 取扱い後は手、顔などをよく洗うこと。<H315, H319> P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。<H335> P280 保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。<H315, H319>
[応急措置]	P302+P352 皮膚についた場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。<H315> P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。<H335> P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。<H319> P312 気分が悪い時は医師に連絡すること。<H335> P332+P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。<H315> P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。<H319> P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。<H315>
[保管]	P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。<H335> P405 施錠して保管すること。<H335>
[廃棄]	P501 内容物/容器を国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。<H335>

他の危険有害性: 情報なし

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分:	混合物
化学名又は一般名:	本品は、炭酸水素アンモニウムとカルバミド酸アンモニウムの混合物である。
化学式又は構造式:	炭酸アンモニウム
分子式:	NH_4HCO_3 と $\text{NH}_2\text{CO}_2\text{NH}_4$ の混合物
分子量:	データなし
濃度又は濃度範囲:	30.0 % ≤ アンモニア (NH_3 として)
CAS 登録番号(CAS RN®):	506-87-6
官報公示整理番号:	化審法(1)-141/安衛法 既存
危険有害成分:	特になし

4. 応急措置

吸入した場合:	新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合:	すぐに石けん(鹼)と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
眼に入った場合:	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師の手当てを受けること。
飲み込んだ場合:	口をすすぐこと。 意識のない人の口には何も与えないこと。 直ちに医師に連絡すること。 医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。
応急処置を者の保護:	個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤:	水スプレー(水噴霧)、二酸化炭素、泡、粉末消火剤、砂
使ってはならない消火剤:	情報なし
特有の消火方法:	情報なし
火災時の特有危険有害性:	熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。
消火を行う者の保護:	個人用保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、:保護具及び緊急時措置:	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。
環境に対する注意事項:	風上から作業して、風下の人を退避させる。 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 汚染された排水が適切な処理をされずに環境へ排出しないように注意する。
封じ込め及び浄化方法及び機材:	飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。
回収、中和:	情報なし
二次災害の防止策:	環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策:	強酸化剤との接触を避ける。 局所排気装置を使用すること。
注意事項:	容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉じんや蒸気を発生させない。 使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
安全取扱い注意事項:	皮膚、眼、衣服との接触を避ける。 個人用保護具を着用のこと。
保管	

保管条件:	直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。
安全な容器包装材料:	ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラスなど
混触禁止物質:	強酸化剤

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度:	設定されていない。
許容濃度	
日本産業衛生学会:	設定されていない。
米国産業衛生専門家会議(ACGIH):	設定されていない。
設備対策:	屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
保護具	
呼吸器の保護具:	防塵用マスク
手の保護具:	保護手袋
眼の保護具:	側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型又は安全保護眼鏡)
皮膚及び身体の保護具:	長袖作業衣
適切な安全対策:	産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	
形状:	結晶～結晶性粉末又は塊
色:	白色
臭い:	特異臭
臭いのしきい(閾)値:	なし
pH:	塩基性(水溶液)
融点・凝固点:	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲:	データなし
引火点:	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1):	データなし
燃焼性(固体、ガス):	データなし
燃焼又は爆発範囲:	データなし
蒸気圧:	データなし
蒸気密度:	データなし
比重(密度):	データなし
溶解度:	水に溶け、エタノールに溶けない。
n-オクタノール/水分配係数:	データなし
自然発火温度:	データなし
分解温度:	データなし
粘度(粘性率):	データなし
粒子特性:	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性:	空気中ではアンモニア臭を発生し、徐々に分解する。
反応性:	データなし
危険有害反応可能性:	通常の処理ではなし
避けるべき条件:	高温と直射日光
混触危険物質:	強酸化剤
危険有害な分解生成物:	一酸化炭素(CO)、二酸化炭素(CO ₂)、アンモニア(NH ₃)

11. 有害性情報

急性毒性(経口):	ラット LD ₅₀ : 2150 mg/kg
急性毒性(経皮):	データなし
急性毒性(吸入):	データなし
皮膚腐食性及び刺激性:	データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性:	データなし

呼吸器感作性:	データなし
皮膚感作性:	データなし
生殖細胞変異原性:	データなし
発がん性:	データなし
生殖毒性:	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	データなし
誤えん有害性:	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	
魚毒性:	データなし
残留性/分解性:	データなし
生体蓄積性:	データなし
土壌中の移動性:	データなし
オゾン層破壊物質:	当該物質はモントリオール議定書の附属書に記載されていない。
他の有害性:	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
汚染容器及び包装:	使用済み包装容器は内容物を完全に除去した後、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号:	該当しない
品名(国連輸送名):	該当しない
国連分類:	該当しない
容器等級:	該当しない
海洋汚染物質:	該当しない
国内規制	
陸上輸送情報:	該当しない
海上輸送情報:	該当しない
航空輸送情報:	該当しない
緊急時応急措置指針番号:	該当しない
特別な安全対策:	輸送に際しては直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法:	該当しない
消防法:	該当しない
毒物及び劇物取締法:	該当しない
大気汚染防止法:	該当しない
土壌汚染対策法:	該当しない
水質汚濁防止法:	有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条)
海洋汚染防止法:	該当しない
船舶安全法:	該当しない
航空法:	該当しない
道路法:	該当しない
化学物質管理促進法(PRTR法):	該当しない
外国為替及び外国貿易法:	輸出貿易管理令別表第1の16の項【HS2836.99】
食品衛生法:	食品添加物品のみ適用(指定添加物)

16. その他の情報

- 参考文献:
1. 化学大辞典 共立出版(1993)

2. JIS K8613-1994
3. Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM(2003)
4. GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報 厚生労働省
http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx
5. 化学品法規制検索システム 日本ケミカルデータベース株式会社

改訂情報:

旧版(2023年6月1日付け)からの改訂点は、「1.製品及び会社情報」への「推奨用途」「使用上の制限」の追加である。

この安全データシートは、各種の文献等に基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありません。また、作成の時点における知見によるものです。注意事項は通常の見取りを対象としたもので、特殊な条件下で使用する場合は、その環境に応じて安全対策を講じてください。含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証もするものではありません。